

## 生花市場は一足早く“初市”

～ 商売繁盛の願いを乗せて3艘の宝船が出航 ～

1月4日(水)早朝、東京都中央卸売市場の各生花市場では青果や水産、食肉に先駆け“初市”が行われ、縁起物である宝船の競売が行われるなど平成29年の営業がよいよスタートしました。

### 卸売業務から生産者・消費者の喜びへ、願うは商売繁盛

大田市場に入る日本一の生花卸売の(株)大田花きの競売場では、初市を前に磯村代表取締役社長から次のとおり年頭の挨拶があり、その後初市がスタートしました。

「花きについては市場経由率が80%となっており、社会の中でより深く卸売業務を完結することで生産者消費者に喜んでいただきたい。なにより大事なのは市場を利用する小売の皆様が商売繁盛すること。築地で仕入れる寿司屋のように、大田市場で花きを仕入れる皆様には“消費者の役に立っている”と意識して商売にあたって欲しい。皆様の商売繁盛を願っている。」

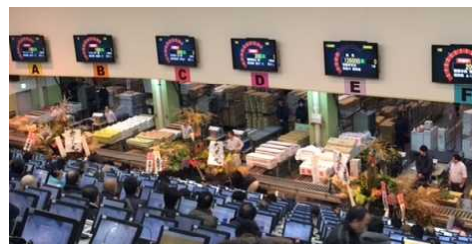


挨拶をする磯村社長(中央)

### 豪華絢爛な宝船が生花市場の年始めを彩る

大田花きで競売された3艘の宝船は「大黒丸」、「恵比寿丸」、「弁天丸」と名付けられ、初市に先立って行われた競売では18万円～13万5千円で競り落とされました。青果市場では様々な野菜が船に積まれています。生花市場の宝船にはキク、バラ、ユリ、トルコギキョウ、シンビジウム、梅、南天、金銀の塗り物などたくさんの切り花や枝物に加えて、米俵や餅などで正月らしくめでたく豪華に飾られており、船体部分も全てアカメヤナギ(コヤナギ)などで作られています。

一方で、隣接する(株)フラワーオークションジャパンでは止市にて一年の御礼の挨拶と合わせて5艘の宝船の競売が行われました。



宝船の競売



場内仲卸が競り落とした「恵比寿丸」



場内仲卸が競り落とした「弁天丸」



最も高い値がついた「大黒丸」

### 花き需要の増加に期待 そして確実な需要とするために

日本の総人口は平成20年をピークに減少に転じていますが、長期的な視点において農産物の中でも花きについては消費が減ることなく、反対に需要が増すと見込まれています。

心の豊かさが益々求められ、さらに生活スタイルの多様性が増し様々な文化が混在する中で、花き業界にとっては花や緑との接し方をこれからも提案しつづけ、さらにそれを定着させる工夫が必要です。そのため販売店や卸業者だけでなく、生産者や行政も心をひとつにして一体となった取組が不可欠だと考えます。

平成29年(2017年)の花きに関する主なイベントは下表のとおりです。そして、生花市場では1月に入ると次第に2月14日のバレンタインを中心とし1月31日「愛妻の日」、そして3月14日ホワイトデーの3つのイベント(3つ合わせて「スリーラブストーリーズ」とも言われる)の需要に向けた動きが活発化します。

| 時期        | 名称               | 場所            |
|-----------|------------------|---------------|
| 2月3～5日    | 関東東海花の展覧会        | 池袋サンシャインシティ   |
| 2月11～17日  | 世界らん展            | 東京ドーム         |
| 3月25～6月4日 | 全国都市緑化よこはまフェア    | 山下公園他         |
| 4月1～3日    | 日本フラワー&ガーデニングショウ | パシフィコ横浜       |
| 4月22～23日  | フラワードリーム         | 東京ビッグサイト      |
| 4月27～30日  | 世界盆栽大会           | さいたまスーパーアリーナ他 |
| 5月中旬      | 国際バラとガーデニングショウ   | (未定)          |
| 10月11～13日 | 国際フラワーエキスポ       | 幕張メッセ         |